

令和3年度・第2回合同会議報告

日時:10月 9日(土)午後 7時30～9時00分

場所:中央交流会館多目的ホール

総参加人数:34名

緊急事態宣言発出されたため約一ヶ月遅れで第二回合同会議を開催いたしました。

緊急事態宣言が解除され感染者数もかなり少なくなったとはいえ、感染防止対策をしたうえで町総代・自治会長、協議委員で構成される合同会議を開催しました。

また、今回は国交省・近畿地方整備局淀川河川事務所調査課の佐藤専門官から木津川市と連携して行っている「まるごとまちごとハザードマップの高度化」事業についての説明があり、事前に配付した資料（次頁参照）をもとに木津町区としてもハザードマップの見える化することに対して、出席者から意見を聞くことができました。

今後は木津町区地域内で淀川河川事務所から具体的な事業内容が提示される予定です。

【主な議題】

① 令和3年度事業活動報告

・6月26日～10月 9日の主な事業活動の報告。

② 木津町区・防災タイムライン&回覧板の配付について。

・タイムラインは自治会会員、非会員関係なく配布ねがいます。

・回覧板はコミュニティ助成事業で購入したもので、各自治会回覧板部数分配付について。

③ 令和3年度宝くじコミュニティ助成事業で購入した物品の紹介と収支報告

④ その他

・下期区費(¥500/戸)は第三回合同会議に持参願います。



“おつかれ
さまでした”

プレゼンテーション資料



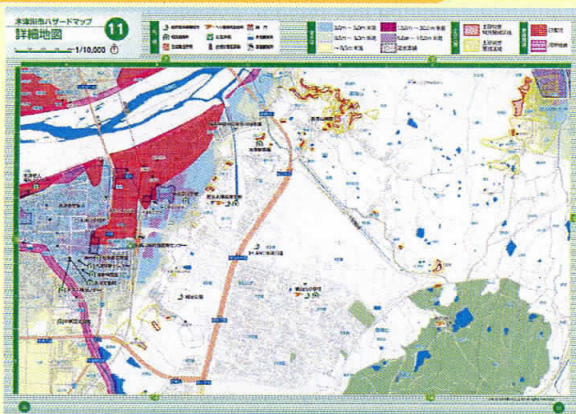
木津町区の自治会の皆さまへ

まるごとまちごとハザードマップの高度化について ご意見を下さい

まるごとまちごとハザードマップとは

自らが生活する地域の**水害**の危険性を知るために、木津川市からハザードマップが配布されています。このハザードマップを生活空間である“まちなか”に表示する事業であり、木津川沿川でも約90箇所設置しています。

水害ハザードマップ



○：メリット △：デメリット

- ：自宅や勤務先などの知りたい場所の**浸水深**や近くの**避難所・避難場所**を確認できる
- ：**アンダーパスや内水氾濫などの危険箇所**も確認できる
- ：**避難に必要な多くの防災情報**について確認できる
「情報の取得方法」や「避難の目安」、「非常持ち出し品に関する情報」など
- ：**防災教育や勉強会、避難訓練等で活用**できる
- △：**防災に興味がない人は、浸水深を確認するまでに至らない可能性がある**
(意識しないとハザードマップは確認されない)
- △：**浸水の高さをイメージしづらい**

通常のまるごとまちごとハザードマップ



JR木津駅東口



加茂小学校

水害ハザードマップの内容を、それぞれの地域で具体的に、臨場感をもって認識し、避難の実効性を高める

- ：“まちなか”にあるので**無意識に目に入る**
- ：日常生活上で視認されやすく**防災に興味が無い人でも浸水深や避難所などの情報を知る**ことができる
- ：**浸水深を感覚的に理解**できる

資料出典：まるごとまちごとハザードマップのすすめ(H31.4 国土交通省 水管理・国土保全局)を一部加工

まるごとまちごとハザードマップの高度化とは

住民の皆様が、地域の水害の危険性をより一層実感し、災害時に命を守る行動をとっていただくためにハザードマップをさらに見える化する高度化を行います。

標準的な まるごとまちごとハザードマップ



【近景】



【遠景】

木津川市役所周辺の高度化した まるごとまちごとハザードマップ

